

Berlin Report

August 2026

CONTENTS

- * Project 1: MOKKA*MILCH
- * Project 2: Glas | Beton | Metall

1. MOKKA*MILCH

Project Overview

1960年代から旧東ドイツの首都ベルリンにあった伝説のカフェが、長い閉館を経て「MOKKA*MILCH」としてリニューアルオープン。再オープンの日には開店を待ち侘びた人が店に詰めかけ、一時は入場制限、閉店が必要になるほどの大盛況となった。かつてここで青春時代を過ごした世代だけでなく、当時を知らない若い世代も足を運ぶ。多くの人を惹きつけている理由が、開店当初の歴史的なディテールを残しながらも、モダンなテイストを加えたミッドセンチュリーなインテリアデザインだ。外壁のタイルはオリジナルの色で復元し、中二階へと続く印象的な手すりは当時のままにサンドブラスト加工を施し、装飾や色も再現された。

と言っても、完全に当時の様子を再現したわけではない。手すりの装飾やタイルに現れる幾何学模様をアレンジし、壁面やバーカウンターの表面の立体的な装飾に。テーブルも素材は木と真鍮というクラシックなものを選びつつも、天板はアシンメトリーな台形にするなど、一見当時のままだがよく見るとちょっと違う、モダンなテイストにすることを心掛けたと、オーナーの Natacha Neumann は言う。

Neumann は「いま世界には何が必要か？」を考え、MOKKA*MILCH を通じて、さまざまな人が出会う空間を作ろうと試みた。ソーシャルディスタンスを重視するパンミックの時代を経て、デジタルでは得られない偶然の出会いや対話の価値を改めて実感し、この場所を見つけたのだという。60年以上前から、人々の出会いの場だった伝説のカフェ「Mokka Milch Eisbar」に、独特のエネルギーを感じたそうだ。

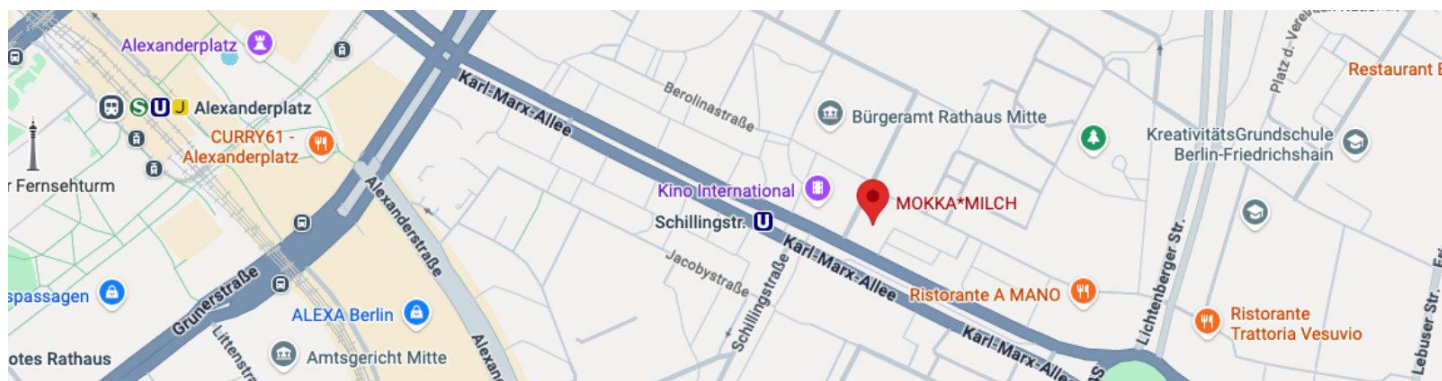
実は壁面を覆う装飾やテーブル、大きなガラス窓に取り付けられたオブジェには、密かに吸音性や音響を考慮した仕掛けがある。天井が高く、遮る壁のない体育館のような空間だが、どの席に座っても無理なく会話が楽しめるのは実はこの内装のおかげ。人の交流を密かに支えるインテリアデザインでもあるのだ。

Project Details

1. Brand: MOKKA*MILCH
2. Type of Business: Restaurant, Café & Bar, CoWorking Space
3. Open Date: 12/06/2026
4. Location: Karl-Marx-Allee 35, 10178 Berlin
5. Size: 1040 m2
6. Architect: Walter Franek, Josef Kaiser (1963) DREIMETA (interiordesign)
7. Webseite: <https://mokkamilch.de/>

Photos: Gianni Plescia

Location MAP





上：タイルや階段の手すりは開店当初のまま。照明やテーブルなどは素材感を揃えつつフォルムは現代的に。下：中二階のコワーク空間



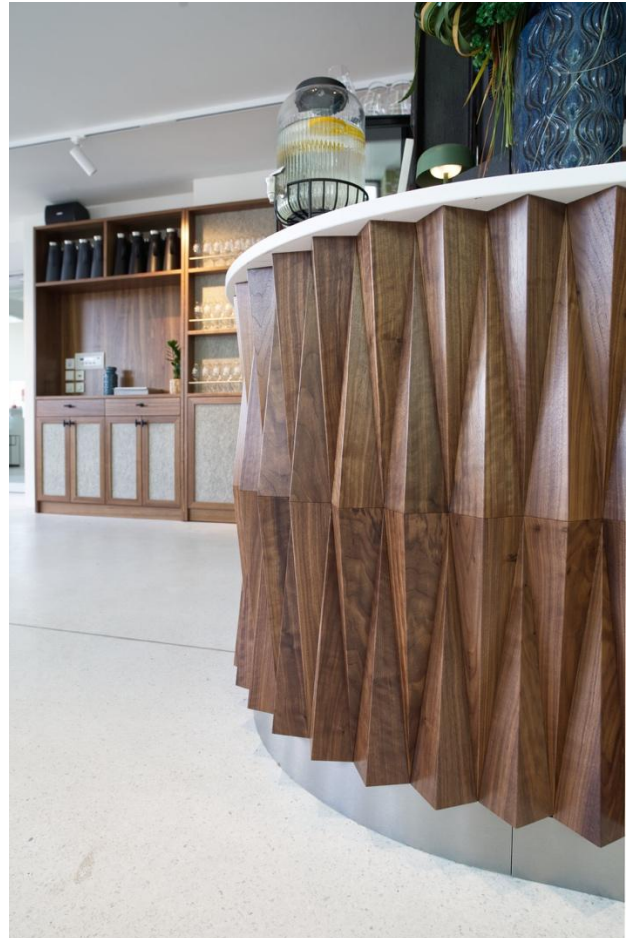


上：ミッドセンチュリーな手すりの装飾や色合い。下：コワーク空間にはお客が持ってきてくれた東ドイツ時代のオブジェや本が飾られている。





上：壁の装飾は集音・音響効果がある。下右：バーカウンターの装飾も壁に呼応するフォルム。下左：天井の照明と同じ形の集音材を窓辺に。



2. Glas | Beton | Metall

Project Overview

創立からたった 14 年間という短い間ながら、その存在が 20 世紀のデザインや建築の基盤となった bauhaus。中でも 2026 年に創立 100 周年を迎えた Dessau 校は、ガラスとコンクリート、鉄骨で造られた本校の建築自体もその先進性が当時から高く評価され、いまでも色褪せない魅力を持つ建築を一目見ようと、世界中から多くの人が訪れる。100 周年を記念して企画された展覧会「Glas | Beton | Metall」は、bauhaus で好んで使われた産業的な素材「ガラス・コンクリート・金属」をテーマとした展覧会だ。ベルリンに拠点を置く建築事務所 Gonzalez Haase AAS が金属をテーマとした展示のセノグラフィを担当し、注目を集めている。

世界中で数多くのリテールショップの内装を担当する GONZALEZ HAAS。通常はあまりインテリアに使われないような素材を取り入れ、光と影を使ってグラフィカルで印象的な空間を作り出す彼ら。今回の展示では、細い金属線を溶接して作られたメッシュ状のモジュールを展示台やケース、仕切り壁などに使用した。光を透過する素材は金属でありながら軽やかな印象を与え、見る角度によっても表情を変える。壁の代わりに金属の構造体で大きなガラス製のカーテンウォールを支え、光をふんだんに取り込んだ bauhaus 建築の再解釈にも見えて、興味深い。

展示入り口に置かれているのは、Marcel Breuer が手がけたスツール・サイドテーブル B9 だ。クロムメッキを施した金属管を曲げ、天板を置いただけのシンプルなデザインが、このメッシュ状の台座の上に設置されて一体化し、まるで抽象的なアート作品のようにも見える。会場内でも bauhaus の金属工房で作られた作品群が、空間を縦断する金属メッシュ台座と一体化し、光の筋を放っているようだ。機能美という言葉が実感をもって迫る美しい展示だ。

Project Details

1. Brand: bauhaus dessau Glas | Beton | Metall
2. Type of Business: Exhibition
3. Open Date: 28/03/2026 - 10/01/2027
4. Location: Gropiusallee 38, 06846 Dessau-Roßlau
5. Architect : Gonzalez Haase AAS
6. Website: <https://bauhaus-dessau.de/ausstellungen/glas-beton-metall/>

Photos: Gianni Plescia

Location MAP

